

市民が 主役の行政へ



第5代宮古島市長に 座喜味一幸氏が就任

今年、1月17日に宮古島市長選挙及び市議会議員補欠選挙が行われ、選挙の結果、座喜味一幸氏が第5代宮古島市長に当選しました。ここで、1月25日付けで市長に就任した座喜味一幸市長のプロフィールや、市民の皆様に向けたメッセージを紹介します。



新市長の業務風景



▲就任後初めて市長室に向かう市長。

▲就任式の様子。



▲ZOOM会議に出席。

▲コロナ関連記者会見に臨む市長。

▼就任後初の臨時議会にて登壇する座喜味市長。▼



座喜味一幸

【座喜味一幸市長 プロフィール】
昭和24年12月15日生(71歳)

【略歴】(学歴)

平良市立平良中学校卒業
琉球政府立宮古高等学校卒業
琉球大学農学部卒業

(職歴)

昭和47年 沖縄総合事務局入局
平成7年 宮古土地改良区事務局長就任
平成20年～ 沖縄県議会議員(3期)

【座右の銘】「如水」水の流れの如く、常に淀まず新鮮な気持ちを持ち、頑固にならず自然の流れに身を置く。難しいことですが、心がけていきたいです。
【趣味】家庭菜園など土と戯れている時が一番癒やされます。ゴルフ、囲碁、釣りも好きです。



高校生から座喜味市長へ インタビュー!

今年度有権者となった、宮古総合実業高校商業科3年生の8名の皆様から、これから宮古島の行政を担う座喜味市長へ、書面インタビューを行いました。今回は、新型コロナウイルス感染予防のため、書面での質問・回答を行いました。(※写真は後日、撮影しています)高校生が今島について考えること、市長に聞きたいこと、市長の思いを御覧ください!

◀◀◀次のページへ♪



「市民が主役の行政へ」

宮古島市長 座喜味一幸

私は、このたびの市長選挙においてたくさんの方々の負託を受け、第五代宮古島市長として就任させていただきました。

多くの市民が私の公約・政策に賛同し応援いただいたことを重く受け止め、掲げた公約の着実な推進を決意するとともに市民目線に立ち、市民ファーストを基本として宮古島の発展に向け邁進してまいります。

私は先の市長選挙において、重点施策となる十の公約を掲げました。

- 一 コロナ禍の危機を乗り越える
- 二 市民の為の市政の実現
- 三 地域の宝の次世代への継承
- 四 農畜水産業の所得向上
- 五 離島医療の充実・支援拡充
- 六 子育て支援・教育環境の充実
- 七 誰一人取り残さない社会の実現に向けた福祉の充実

八 命の水である地下水の保全
九 男女共同参画・ジェンダー平等の推進
十 調和のとれた持続可能で豊かな島づくり

市民の皆様は約束しましたこれらの公約について、様々な分野からのご協力を頂きながら、実現に向け全力で取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延という未曾有の危機を乗り越え、新しい宮古島の創生へ向かって歩みを進めるには、行政と市民全体が一体となり、「ワンチームみやこ」の取り組みを推進する必要があります。市民の皆様の一層のご協力とご理解を賜りますよう、心からお願い申し上げます。